

第 56 回日本透析医学会学術集会 ポスター発表要旨

【P-4-277】

SYNBIOTICS 食品である『GFine』摂取による透析患者の排便状況の変化について

偕行会セントラルクリニック<sup>1)</sup>, 安城共立クリニック<sup>2)</sup>, 名港共立クリニック<sup>3)</sup>, くわな共立クリニック<sup>4)</sup>, 瀬戸共立クリニック<sup>5)</sup>

○高橋 恵理香<sup>1)</sup>, 伊藤 公子<sup>2)</sup>, 渡邊 愛子<sup>3)</sup>, 倉田 貴子<sup>4)</sup>, 加山 直子<sup>5)</sup>, 春日 弘毅<sup>1)</sup>

【目的】

透析患者へ水溶性食物繊維とヒト由来ビフィズス菌の 2 つの有用素材を含む SYNBIOTICS 食品(Gfine)の摂取による、排便コントロールと腸内環境改善の有用性について検討する。

【対象・方法】

維持透析患者 14 例を対象に、Gfine を 1 日 2 包 4 週間摂取し、排便アンケート調査と採血による血中 DAO 活性の測定にて、排便状態、腸内環境について検討した。

【結果】

個人差はあるが排便がスムーズになった症例がみられた。血中 DAO 活性については摂取 2 週間目と 4 週間目の間で有意に上昇した。

【考察】

下痢傾向、便秘傾向の患者が混在するため、排便改善の解析までできなかった。患者を絞り込み、n 数を増やして統計処理できるところまで掘り下げたい。

【結語】

排便時の不快感軽減と摂取による腸内環境の健全度が高まる可能性が示唆された。